



選果基準を確認する生産者

6/18

高品質な トマトの出荷へ JAトマト部会

トマト出荷目ぞろえ会を開き、高品質トマトの長期安定出荷を目指し意識統一を図りました。JA園芸課の佐々木俊之職員が選果基準や出荷上の注意点などを説明。令和8年度は出荷数量32万2000箱（1箱4キ）、販売金額5億8000万円を目指します。



野菜の袋詰め挑戦する児童

6/27

野菜袋詰めゲームに挑戦

第2回わくわく純情ブランドを開き、管内の小学校に通う児童20人と保護者が参加しました。参加した児童はミニトマトの生育指導を受けた他、野菜の選果ラインなどの施設見学や、重さ1キを目標とする野菜の袋詰めゲームを楽しみ、目を輝かせていました。



出荷規格を確認する生産者

6/25

ブランド向上を目指して JAミニトマト部会

ミニトマト目ぞろえ会を開きました。出荷規格や出荷時の注意点などを確認し、品質の向上や均一化に努めるよう意識統一を図りました。出荷されたミニトマトの目合わせや、カラーチャートを見ながら収穫のタイミングを確認するなど情報共有を行いました。



段ボール箱への詰め方を説明するJA担当者

7/7

良品質生産と出荷目指す JA花き部会小菊専門部

小菊出荷目ぞろえ会を開き、出荷時の注意点、出荷規格などを確認しました。JAでは物流問題に対応するため昨年从前々日荷受けに取り組み効率的な輸送の実現を図っています。盆需要期に向け、消費地にしっかり小菊を届けられるよう意識を高めました。



キュウリを見ながら情報交換する生産者

7/3

適切な薬剤散布呼び掛け JAきゅうり部会

キュウリ出荷目ぞろえ会を管内2会場で行いました。販売情勢や集出荷体制、出荷規格について確認し、高品質出荷に向けて意識統一を図りました。JA園芸課の渋谷光職員は「病害虫の発生に留意し適切な薬剤の散布をしてほしい」と呼び掛けました。

7/7

組織の課題解決に向けて JA集落営農組織 連絡協議会

第12回通常総会を開きました。令和8年度は組織の法人化や先進地視察研修、集落営農経営研修会などを実施することで、各組織が抱える課題解決に取り組むことを決定しました。新協議会長には、(農)清田フレンドファームの藤野仁也さんが選任されました。



要望を述べる集落営農組織の代表者

7/17

小さな農業について学ぶ JA女性部



講演をする加藤さん④

女性部リーダー全体研修会を開き、各中央支部の役員など35人が参加しました。「やってみようー小さな農業で稼ぐ」をテーマに加藤敏子さん(大東)が講演し、伝統のしみ餅作りや、年間を通して農業と加工販売事業を両立させる方法について学びました。

7/8

交通ルールの大切さ実感 一関工業高等学校



スタントマンの実演に注目する生徒

岩手県警察本部とJA共済連岩手、JAが連携し自転車交通安全教室を開きました。スタントマンが「ながらスマホ」による不注意で歩行者をはねてしまう事故などを再現。事故の衝撃や怖さを実感し、自転車の交通ルールを守る大切さを学びました。

7/17

稲の葉をむく作業に挑戦 厳美小学校(一関)



慎重に幼穂を取り出す児童

5年生10人は稲の幼穂観察を行いました。稲の根元付近から葉を一枚一枚むいていく作業に挑戦し、葉の中から幼穂を見つけ、優しく取り出すと笑顔があふれました。

7/18

土との触れ合いを学びに いってみっぺし藤沢



収穫したジャガイモを袋に詰める参加者

子ども食堂に参加する園児・児童15人と保護者は、JA女性部藤沢中央支部の指導でジャガイモの収穫を体験しました。土と触れ合って農業の楽しさを学び、収穫を喜びました。

7/16

最新の農業機械がずらり



機械の説明を受ける来場者

農業機械大展示即売会をJA大東農機センターで開催しました。来場者は多数並んだ農業機械を見比べ吟味していました。大抽選会も開催され、会場はにぎわいを見せました。